# 目標の進捗状況報告書

(2012年度·大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

## Ⅰ. 評価項目・要素と担当部局

本シートの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

7 1 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			
対象部局	司法研究科		
大項目	0 国際関係		
中項目			
小項目	10.0.1 国際交流(国内外における教育研究交流)についての方針を明示しているか。		
要素	(KG1) 国際化への対応と国際交流の推進に関する基本方針の適切性		
小項目	10.0.2 国際交流(国内外における教育研究交流)を適切に行っているか。		
要素	(KG1) 国際レベルでの教育研究交流を緊密化させるための措置の適切性		
	(KG2) 国内外の大学院間の組織的な教育研究交流の状況		

## Ⅱ. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

#### 《進捗評価》

本項目において、2009年度~2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。 進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。 A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

: 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。

B: 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。

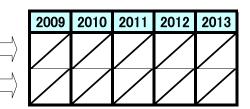
C: 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。

D: 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	
1. 隔年で、交流協定校、その他海外教育研究機関等から最低1人の教員(客員教員A)を受入れ、授業担当をしてもらう。	→国際交流協定校、その他海外教育研究機関等からの教員の派遣 (客員教員A)受入れ数。	
2. 隔年で、本研究科教員を最低1人を交流協定校、その他海外教育研究機関等へ派遣する。	→国際交流協定校、その他海外教育研究機関等への本学教員の派遣 数。	
3. 毎年、国際交流に関する講演会、交流会を実施する。	→国際交流に関する講演会と交流 会の実施回数。	

	進捗評価				
	2009	2010	2011	2012	2013
$\rangle$	D	С	С		
$\rangle$	В	В	Α		
$\rangle$	D	С	С		
			$\Rightarrow$		

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	
	$\rightarrow$	
	$\rightarrow$	



### 《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

		VVDET = 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	
☆	目標1	海外客員教員の受入については2011年度の実績はなかった。2013年度アメリカン大学からの招聘を交渉中である。	
	目標2	2011年度は協定校であるホッフストラ大学、ジョージタウン大学、アメリカン大学の各ロースクールへ教員2名、職員1名で訪問 し、協定内容の見直し等を行った。また、ドイツ・マックス・プランク研究所、米国・ハワイ大学への派遣があった。	
	目標3	2011年度の実績はなかった。招聘旅費のかからない在日外国人の適任者と調整中である。	
	備考		